

OSCE 試行結果を報告
 学生は実施に前向きな意見



OSCEのミニトライアル結果を報告

接遇等で評価に偏りも

日本薬学会の主催による「第3回薬学教育フォーラム2006」が8月11日に東京港区の共立薬科大学で開かれ、昨年度に行われたOSCEのミニトライアル結果が報告された。トライアルにより、患者・顧客対応(接遇)や情報提供のあり方について、手技の統一を図る必要性が指摘された。学生からの評価は「合格すれば安心して実習に行ける」など、歓迎する声が大半であった。今後の課題としてはステーション数や評価項目の再検討、評価者教育などが必要とされた。

6年制薬学教育では、5年次から薬局・病院の実務実習を行うに当たって、学生が実習を受けるに値する知識・技能を備えていることを担保するため、4年次終了時点で共用試験が実施される。これに合格できなかった学生は、実務実習へ進むことができない。

共用試験は、知識を問う「CBT」と呼ばれる試験と、技能と態度を評価する「OSCE」という実技試験の2本立てで行われることが決まっている。OSCEについては、薬学教育大学人会議で方法論などが検討されており、実施する試験の項目として、①患者接遇②薬剤の調製③調剤鑑査④無菌操作の実践⑤情報提供——などのカテゴリーが提案されている。

今回発表されたのは、OSCEの実施に向けての課題などを抽出するため、昨年度に日本薬学会の主催により、東京薬科大学と武庫川女子大学の両校で実施されたOSCEのミニ

技能・態度を見る共用試験

ニトライアル結果。報告したのは東京薬科大学が山田安彦、武庫川女子大学が松山賢治の両氏。

東京薬科大学のミニトライアルには、受験生30人、スタッフ約110人が参加し、同学の医療薬学実務教育施設に6ステーションを設置して実施された。課題は、▽患者・顧客対応▽薬剤の調製(水剤・散剤)▽調剤鑑査▽無菌製剤▽情報提供——の5領域であった。

実施後に各ステーションにおいて評価ポイントの低かった項目、同一学生に対する評価で不一致が多かった項目などを調査したところ、接遇・情報提供などで評価の不一致が目立った。接遇や情報提供は、調剤などと比較して標準化されていないことが、評価の分かれた要因であるとし、標準化が今後の検討課題として示された。

同様に評価者に対して、担当した領域の評価内容を尋ねたところ、やはり接遇と情報提

供などで「問題あり」とする回答が多く、理由は「偏りが出そう」というものだった。

OSCEの必要性に対する学生の見方では、「必要」が97%と大半を占めた。必要とした理由は、①自分の技術・態度を確認できる②合格すれば安心して実習に行ける③技術・態度を学ぶ動機づけになる——など、前向きな意見が目立った。学生からの評価結果をみて山田氏は、「OSCEが学生のためになることを改めて確認した」との認識を示した。

武庫川女子大学で実施された第2回ミニトライアルでは、1回目と同じく6ステーションが設けられ、学生32人、スタッフ124人が参加して行われた。1回目と異なったところは、SP(模擬患者)が参加したこと、課題内容に軟膏剤の調製、クリーンベンチの操作、ベッドサイドにおける服薬指導を取り入れた——などの点である。

実施前後で学生の意識変化を調査した結果では、OSCEの各領域に対して「絶対必要」とする回答が、実施前よりも実施後に大きく増えていた。

また評価者に対して、担当したステーションの評価内容を聞いたところ、軟膏の調製は全員が「問題あり」と指摘しており、その理由は「大雑把すぎる」が多かった。また1回目のトライアルと同様、「接遇で偏りが出そう」という指摘も目立った。

松山氏は今後の課題として、SPや評価者教育、評価項目、ステーション数の再検討の必要性を指摘した上で、「OSCEはテストというよりも、新しい薬学教育の体現だ」との見解を示した。

なお、OSCEについては昨年度のミニトライアルに続き、今年度は10校程度が参加して、第1期全国トライアルが実施されている。

評価者教育など今後の課題

評価法の標準化が必要

薬学生のみなさま
 クラシス
 ベストな就職が実現!!

就職の成功を支援いたします。

豊富な求人情報
 個人の就職活動では入手困難な求人情報も全国から多数寄せられています。

登録から紹介まで一切無料です
 キャリアアップが実現するまで、何度でもご相談ください。当然、プライバシーの保全には万全を期しております。

万全な体制でバックアップ
 ご経験や能力をフルに発揮できる最適なお仕事を責任を持ってご紹介いたします。

薬剤師派遣スタッフ 同時募集

「好きな時間に働きたい」「いろいろな職場で経験を積みたい」などご自身のスタイルでお仕事を選べます。スキルを活かせる分野で思いっきり活躍してください。

お問い合わせ・受付
 求人情報掲載中 0120-013-969
<http://www.krasys.co.jp>

クラシス 株式会社
 厚生労働大臣許可(般13-010613)(13-ユ-010302)

東京本社：〒101-0061 東京都千代田区三崎町2-10-10 矢野ビル2F
 大阪支社：〒530-0026 大阪府大阪市北区神山町14-22 シティビル梅田6F

